

【プログラム6-A:ベストリスナー

～聞き上手で広がる我・輪・和～】

☆ねらい：コミュニケーションの取り方について考え、相手と会話をするときに役立てていこうとする気持ちを高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	コミュニケーション、聞き方
時 間	25分
人 数	何人でもできる
活動形態	2人組
準備物	補助シート（人数分）
主な活動	①2人組で、聞き方のロールプレイをする。2人とも親役と子ども役を体験する。 ②感じたことを紹介する。
気を付けること	○相手の話をしっかり聴くことは、人権尊重の視点からも大事であることを伝える。
備 考 (アレンジ等)	○講座の時間が長くとれる場合は、プログラムNo6-Bの展開例を参考に講座の組み立てを考える。
ステップ（中高生 期）編との関連	No16：やってみよう、聞き方エトセトラ～今日からあなたも聞き上手～

【プログラム6-A : ベストリスナー

～聞き上手で広がる我・輪・和～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	1. ねらいを確認する。 【1分】 [キーワード] ○コミュニケーション ○聞き方
20分	ペア	2. いろいろな聞き方をやってみる。 【15分】 ※ロールプレイを通して考える。 (1) 2人組になり、親役と子ども役に分かれる。 (2) 下記のア～ウをやってみる。 ア：聞き手が他のことをしながら聞いている場合 イ：まだ話の途中なのに、聞き手が話を切ってしまった場合 ウ：聞き手が、自分の話より先に、「自分の時は～～だった」「◆◆になるんでしょ」と言ってしまう場合 (3) 親役と子ども役を交代する。
	全体	3. 感じたことを出し合う。 【5分】
4分	全体	4. まとめ 【4分】 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 話をする時、聞き手の姿勢、態度によって、話し手の気分が左右されることがある。話し手が、「話してよかった。」と感じる聴き方（能動的な傾聴）をしようとするのが大事である。 これからもっと社会性が広がっていくので、時間・場所・場合（TPO）に応じた話の聞き方、話し方を意識していくのが大事である。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 話の聞き方のポイント5 ★うなづく ★あいづち ★アイコンタクト（相手を見る） ★笑顔 ★質問する </div> ◇TPOに応じた聞き方の例 例 あいづち { <ul style="list-style-type: none"> ・友達、同世代、後輩との会話の場合 ・先生、先輩、目上の人との会話の場合

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・聞き手（親）の聞き方によって、話し手（子ども）が受ける印象に違いがある。聞き手（親）は、話し手（子ども）が話しやすい雰囲気や態度を作ることが大事であり、その一つ一つの積み重ねは、親子の関係づくりへ連動している。

◇ロールプレイングの例

ア：聞き手が他のことをしながら聞いている場合

子ども：ただいま。

保護者：おかえり。

子ども：今日、この前あった小テストが返ってきたんだ。思っていたよりいい結果でね。とてもよかったって思っているんだ。すごいでしょ。

保護者：※携帯をさわったり、本を読んだりしながら、話を聞く。
そう、よかったね。

子ども：(自分で考えたセリフを言おう)

イ：まだ話の途中なのに、聞き手が話を切ってしまった場合

場面：先日あった小テストの結果が返され、思ったよりよくなかったことを話す場面。

子どもは、範囲を自分なりに勉強したつもりではあった。自分でも、もうちょっといい結果になると思っていた。

子ども：ただいま。

保護者：おかえり。

子ども：今日、この前あった小テストが返ってきたんだ。

保護者：えっ。そうなの。結果どうだった？

子ども：うーん。あんまりよくなかったんだ。★テストの前には勉強したから、もっとできると思ってたのに……。だから次は、もっと頑張ろうと思っているんだ。

保護者：※子どもの話の途中（★の所から）から言い始める
どうしてできなかったの。勉強がたりないからよ。携帯ばかり触っていたからじゃない。次はいい結果になるようにがんばりなさいよ。

子ども：(自分で考えたセリフを言おう)

ウ：聞き手が、自分の話より先に、「自分の時は～～だった」とか、「◆◆になるんでしょ」と言ってしまう場合

場面：先日あった小テストの結果が返され、思ったよりよくなかったことを話す場面。

子どもは、範囲を自分なりに勉強したつもりではあった。自分でも、もうちょっといい結果になると思っていた。

子ども：ただいま。

保護者：おかえり。

子ども：今日、この前あった小テストが返ってきたんだ。

保護者：えっ。そうなの。結果どうだった？

子ども：うーん。あんまりよくなかったんだ。テストの前には勉強したから、もっとできたと思ってたんだ。

保護者：そんな結果だったら、補習を受けたり追試になったりするわよ。お母さんの時は、小テストでも結果が悪かったら、親から怒られたり宿題が増えたり大変だったのよ。追試いつなの。もっと真剣に勉強しなくっちゃ。

子ども：追試とかないよ。

(自分で考えたセリフを言おう)

【プログラム6-B:ベストリスナー

～聞き上手で広がる我・輪・和～】

☆ねらい：コミュニケーションの取り方について考え、相手と会話をするときに役立てていこうとする気持ちを高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	コミュニケーション、聞き方
時 間	40分
人 数	何人でもできる
活動形態	2人組
準備物	補助シート（人数分）、付箋紙（1人10枚程度を人数分）、A3用紙（グループに1枚）
主な活動	①2人組で、聞き方のロールプレイをする。2人とも親役と子ども役を体験する。 ②会話をするとき特に聞くときの大事なポイントについて考える。 ③考えたことやグループで話題になったことを紹介する。
気を付けること	○相手の話をしっかり聴くことは、人権尊重の視点からも大事であることを伝える。
備 考 （アレンジ等）	○講座の時間が短い場合は、プログラムNo6-Aの展開例を参考に講座の組み立てを考える。
ステップ（中高生 期）編との関連	No16：やってみよう、聴き方エトセトラ～今日からあなたも聞き上手～

【プログラム6-B：ベストリスナー
～聞き上手で広がる我・輪・和～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	1. ねらいを確認する。 [キーワード] ○コミュニケーション ○聞き方 【1分】
35分	ペア	2. いろいろな聞き方をやってみる。 【15分】 ※ロールプレイを通して考える。 (1) 2人組になり、親役と子ども役に分かれる。 (2) 下記のア～ウをやってみる。 ア：聞き手が他のことをしながら聞いている場合 イ：まだ話の途中なのに、聞き手が話を切ってしまった場合 ウ：聞き手が、自分の話より先に、「自分の時は～～だった」「◆◆になるんでしょ」と言ってしまう場合
	全体	(3) 親役と子ども役を交代する。 (4) 感じたことを出し合う。
	グループ	3. 会話をするとき特に聴くときの大事なポイントについて考える。 【20分】 ※ロールプレイで感じたこととつなげて考える。 (1) 大事なポイントだと思うことを付箋紙に書き出す。 (2) グループで意見を出し合う。 (3) A3用紙に付箋紙を出していく。類似事項は重ねる。
	全体	4. グループの中で多かった意見などを全体に紹介する。
4分	全体	5. まとめ 【4分】 話をする時、聞き手の姿勢、態度によって、話し手の気分が左右されることがある。話し手が、「話してよかった。」と感じる聴き方（能動的な傾聴）をしようとするのが大事である。 これからもっと社会性が広がっていくので、時間・場所・場合（TPO）に応じた話の聞き方、話し方を意識していくことが大事である。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話の聞き方のポイント5</p> <p>★うなづく ★あいづち ★アイコンタクト（相手を見る）</p> <p>★笑顔 ★質問する</p> </div> <p>◇TPOに応じた聞き方の例</p> <p>例 あいづち { ・友達、同世代、後輩との会話の場合 ・先生、先輩、目上の人との会話の場合</p>

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・聞き手（親）の聞き方によって、話し手（子ども）が受ける印象に違いがある。聞き手（親）は、話し手（子ども）が話しやすい雰囲気や態度を作ることが大事。その1つ1つの積み重ねは、親子の関係づくりへ連動している。